

第3回吉川地域小中一貫校開校準備委員会 議事録（要旨）

日 時： 令和8年8月26日(水) 午後7時～午後8時50分
場 所： 吉川町公民館 研修室
出席者： 石田 正治 吉川地区区長協議会
大垣 一弥 吉川地区区長協議会
石田 英之 吉川地区区長協議会
森崎 和典 吉川地区区長協議会
森下 顕 吉川町まちづくり協議会
谷郷 祐次 吉川町まちづくり協議会
安井 由次 吉川町まちづくり協議会
荒田 のり子 よかわ認定こども園
谷石 智美 よかわ認定こども園
高郷 理加 よかわ認定こども園
大橋 晴美 吉川小学校 PTA
今村 大介 吉川中学校 PTA
土田 博 吉川中学校 PTA
杉原 千二三 吉川小・中学校学校運営協議会
福田 亮 元地域協議会委員
藤本 理恵 元地域協議会委員
富田 佳泰 吉川小学校 校長
宮脇 久典 吉川小学校 教頭
蓬萊 知子 吉川中学校 校長
坂本 伸明 吉川中学校 教頭
欠席者： 3名
事務局： 森田眞規教育総務部長、山口正明教育振興部長、
仲谷淳小中一貫教育推進室長、林和己小中一貫教育推進室主査、
丸岡晃一小中一貫教育推進室主査
傍聴人の数： 2名

「事務局説明」

（事務局）

「第3回吉川地域小中一貫校開校準備委員会全体会を開始いたします。まず先進地である和泉市立槇尾学園の視察アンケート結果ですが、開放的なメディアセンターや全館空調、8月引っ越し・9月運用というモデルが高く評価された一方で、大空間の維持コストや日照対策、動線分離が課題として上がっています。また、令和12年度開校を目指す全体の整備工程を進めており、現在の計画案にある諸室配置などは骨子ですので、次の基本設計で柔軟に調整していく考えです。」

「部会報告」

（学校運営部会代表）

地域活動拠点ニーズや通学バス・下校時間のズレへの対応策について協議しました。

(施設整備部会代表)

1 学年 1 教室を基本とした児童増への対応やコスト縮減、セキュリティ・防災機能について協議いたしました。

(教育課程部会)

9 年間の一体的な教育、可動式防音壁や複数相談室、不登校児童に配慮した動線確保などについて協議しました。

「事業者説明」

(委託事業者)

「基本計画策定案として、令和 12 年度開校時の児童生徒数推移に基づき、『学習』『生活』『協働』を理念とする施設計画をご提示します。旧吉川高校跡地を活用した配置計画においては、80 年間のライフサイクルコストの比較から全新築案が最も適していると判断いたしました。あわせて多目的スペースの活用や工芸室集約によるコスト縮減、歩車分離や防災・ゼロカーボンへの配慮を組み込んでいます。」

「質疑応答」

(委員)

「本日の進行と資料の扱いについて確認したいのですが、手元の配布資料が少なくスクリーン投影中心だと、内容をじっくり確認するのが難しく感じられます。今回の全体会は報告の場なのか、私たちの意見を反映・修正できる場なのか、あるいはこの場で承認を求めているのか、会議の位置付けを教えてくださいませんか。」

(教育委員会事務局)

「今回は全体コンセプトや新築方針、意見反映状況の共有を目的としておりましたが、資料の配付や確認手続きの面で配慮が足りず申し訳ありませんでした。基本計画は国への申請や概算事業費枠を整理するための骨子ですので、具体的な教室配置や設備につきましては、今後の基本設計・実施設計の段階でしっかり協議しながら調整してまいります。」

(委員)

「基本計画がまとまった後でも、今後の基本設計や実施設計の段階で、教室の配置や駐輪場の設置台数といった詳細を柔軟に変更することは可能なのでしょうか。」

(委託事業者)

「はい、基本計画で決定するのは全体の骨子や枠組みですので、部屋の具体的な大きさやレイアウト、設備配置などは次の基本設計以降の段階で皆様と協議を行い、変更や修正を加えることが可能です。」

(委員)

「今後の設計で調整できるとしても、計画が一般公開されたときに市民の方から『もうこれで決定した』と誤解されないか心配です。公開にあたっては位置づけを丁寧に説明していただきたいです。」

(委員)

「資材や物価が高騰している時期だからこそ、市民の税金を無駄なく適正に使えるよう予算枠の管理を徹底していただきたいです。」

(事務局)

「資材や人件費の高騰という厳しい社会情勢ではありますが、今後の設計工程の中でもコスト削減に努め、設定した予算枠の中で適正な事業執行を行ってまいります。」

(委員)

「校区外からの児童生徒の受け入れ方針や、この学校ならではの魅力化案が定まっていなように思えます。こうした基本的な受け入れ方針が確定しないと、将来的に必要な教室数や学校規模を正確に見極めるのが難しいのではないのでしょうか。」

(事務局)

「校区外からの受入れルールや魅力化の検討については、事務局で持ち帰り整理いたします。

(副委員長)

「本日も各部会報告や基本計画案に対し、熱心なご意見をいただきありがとうございました。資料の扱いや進行へのご指摘も、学校づくりを真剣に考えてくださってのお声と受け止めております。いただいたご意見を踏まえ、事務局と協議しながら丁寧に審議を重ねてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。」